

所属・氏名（ 健康スポーツ学部 健康スポーツ学科 氏名：趙 倩穎 ）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(学術論文) 体育授業におけるバドミントン 指導プログラムの開発に向けた 基礎的研究-体育学専攻大 学生を対象として- 《査読付》	単著	2023 年 8 月	日本基礎教育学会、日本基礎教育 学 会 紀 要 ,28 : 27-32.	本論では、体育学専攻大学生の中学・高等学校 体育でのバドミントン経験の実態と大学バドミント ンの授業を選択した理由と理想と思う指導を明らか にすることの 2 点を目的としている。①中高の 体育はラリー、試合、練習といった内容が多く行 われている。②「楽しそう」、「すごく動く」のイメ ージ、難しいところは「スマッシュ」、「動き」があげ られている。③専門用語はあまり知られていない。 ④ルールについて経験者は未経験者より理解して いる。⑤技術の学習については経験の有無に関わ らず最も学習したいのはスマッシュとゲームであ った。⑥バドミントンが楽しいから選択する学生 が多い。⑦学生がルール説明から学びたく、楽 しく指導してもらいたいことが求められている。 それらを踏まえ、指導プログラムを開発し検証す る上で有益な情報を包含している。 (総ページ数:6 頁)
2	(学術論文) 日本体育総体計画:第 2 期體 育基本計画的成果検証與第 3 期體育基本計画的特徴(日 本のスポーツ・マスタープラン: 第 2 期スポーツ基本計画 の成果の検証と第 3 期スポ ーツ基本計画の特徴)《査読付》	共著	2022 年 12 月	教育部体育署、國 民 體 育 季 刊 ,51 (4):60-65,132.	本論は、第 2 期スポーツ基本計画の成果を検証 し、その成果を踏まえて策定された第 3 期スポ ーツ基本計画の特徴に焦点をあてて議論し、紹介 した。 (総ページ数:7 頁) 共著者: 日比野幹生、趙倩穎 担当部分の概要: 台湾語論文の執筆、査読対応
3	(学術論文) 日本および中国の地域スポ ーツクラブにおける組織文化の 尺度開発に関する研究 《筆頭論文、査読付》	共著	2021 年 8 月	日本体育大学、日 本体育大学紀要、 50:1095-1109.	本論では、日中両国における地域スポーツクラ ブの組織文化を測定する一般的な尺度を開発 することを目的とした。得られた 13 因子構造の尺 度に対して確認的因子分析、尺度構成概念信 頼性の検証などを行った結果、その妥当性と信 頼性を確認した。(総ページ数:15 頁) 共著者: 趙倩穎、清宮孝文、日比野幹生、依田充代。 担当部分の概要: 調査研究の実施、データ分 析、考察、研究全体の総括、論文の執筆
4	(学術論文) 第 32 届夏季奥运会延期对日 本的影响及其相应对策分析 (第 32 回夏季オリンピックの延 期が日本に与える影響と対策 の分析) 《筆頭論文、査読付》	共著	2020 年 7 月	国家体育总局体育 科学研究所、 中国体育科技 56(7):9-13.	本論では、東京オリンピック延期が日本社会にど のような影響を与えているか及びそれらの対策を 明らかにすることを目的とした。延期が日本の企 業、都市、国民、スポーツ選手に影響があった。 国はオリンピック会場やボランティアの確保を取 り組んでいるが、2020 年 4 月の時点では、競技 力向上の対策は特に実施せず、コロナ拡大感染 防止を優先的に実施したことがわかった。 (総ページ数:5 頁) 共著者: 趙倩穎、清宮孝文。 担当部分の概要: 情報収集、考察、研究全体の 総括、論文の執筆
5	(学術論文) 日本备战 2020 年东京奥运会 和残奥会的强化战略(査読 付)(日本における 2020 東京 オリンピック・パラリンピックに 向けた強化戦略) 《筆頭論文、査読付》	単著	2019 年 11 月	国家体育总局体育 科学研究所、 中国体育科技 55(9):78-83.	本論では、日本における東京オリンピック・パラ リンピック大会に向けた国の政策や競技者育成の 取り組みを明らかにすることを目的とした。日本 は 30 の目標メダル設定、ジュニアを対象に才能 発掘の J-STAR プロジェクト、競技者への医科学 支援システムなどの実施がわかった。 (総ページ数:6 頁)